

2013年産クコの実市況

クコの実の中国での総収穫量は約15万トンといわれています。その内、弊社取り扱いの寧夏自治区産収穫のクコの実は約10万トン、その内5万トンが中寧県で生産されます。収穫は年2回に分けて行なわれ、6月中旬から8月初旬までの夏物収穫は全体の70%を占め、9月中旬から10月初旬までの秋物収穫で残りの30%を収穫します。



寧夏自治区中寧県産のクコの実

2013年産は7月中旬までは天候に恵まれ、順調に収穫、乾燥していましたが、7月中旬から1週間降雨が続き、収穫前の原料は雨によるダメージを受け、乾燥中の原料は傷んでしまい廃棄を余儀無くされました。また、無事乾燥を終えたクコの実も湿気によるダメージで、油果(黒ずんだクコの実)の割合が例年に比べて増えています。

よって、仮に秋物の収穫が順調に行なわれたとしても、2013年産は例年に比べて、3割減になるとの予想で、2012年産に引き続き減産となる見込みです。

2013産クコの実価格は、上述の理由による減産に加え、中国国内の販売が好調な事や、燃料費、人件費の上昇等で、現地価格は大幅な高値でオファーされました。

さらに、昨年末から円安が進行している事から、2013年産は価格改定をせざるを得ない状況となっています。